

1976年12月5日〔日〕午後2時開演 大阪厚生年金会館中ホール

指揮：林 節 / 筒井 彰

司 会＝萩原輝子…朝日放送ラジオ「おはようパーソナリティ中村鋭一です」のアシスタントを先月5日までつとめたテルテルちゃん。「林さん、おムコさん探して！」
ピアノ＝高島雅子…つい最近、相愛女子大学ピアノ科卒業。優しいピアノを弾く。
「え？ 男の人ばかりの伴奏？…恐いわア！でもちょっと嬉しい。」
ギター＝荒田和豊…バリトンのヴェテラン荒田利男の甥。まだ紅顔の美少年。あつという間にヴァイオリンとギターをものにした逸材。
う た＝程 一彦…台湾料理「龍潭(リュータン)」の専務様。テレビの料理教室でもおなじみ。ベース箕津正尚の親友。OMCのスキー教授。
う た＝的場光雄…南・阪町のバー「南蛮」の亭主。女性雑誌などをみてフラフラ入って来る客を忌み嫌う。林節に目下絶大な影響を与えている。

プログラム

SAILING, SAILING. /

*

同期の桜

1. 水夫の合唱 〈R. ワーグナー：歌劇「さまよえるオランダ人」から〉
2. 巡礼の合唱 〈R. ワーグナー：歌劇「タンホイザー」から〉
3. ピチカート・ポルカ 〈J. シュトラウスの有名なポルカを男声合唱で……〉
4. スワニー河 〈アメリカ建国200年。フォスター生誕150年。〉
5. ステンカラージン 〈無数のロシア民謡の中でも、最も良く知られたもの。〉
6. ムーンライト・セレナーデ 〈グレン・ミラーの代表作品。コーラスでは初めて？〉
7. スターダスト 〈ゲスト、程一彦のうたで。ジャズのスタンダード・ナンバー。〉
8. ワークソング 〈ゲスト、的場光雄のうたで。がんばって生きるのだ。〉
9. 野ばら 〈ゲーテの詩につけられた「野ばら」。ウィーン少年合唱団の十八番でもある。〉
10. 同期の桜 〈ご存知、古い軍歌。男の友情。OMCは戦争反対。〉

休憩15分

組曲 蛙の歌 草野心平 作詩
南 弘明 作曲

1. 小 曲
2. 亡 霊
3. 鰻と蛙
4. 蛇祭り行進
5. 秋の夜の会話

海の男たちの歌 SEA CHANTY

1. LEAVE HER JOHNNY 〈ジョニー！下船だ！〉
2. TOM'S GONE TO HILO 〈トムはヒロへ行っちゃった〉
3. BOSTON COME ALL-YE 〈みんな来い！ボストンへ〉
4. THE GOLDEN VANITY 〈ゴールデン・ヴァニティー号〉
5. FIFTEEN MEN ON A DEAD MAN'S CHEST
〈死者の棺の上の15人の野郎ども！〉

*

SAILING, SAILING. /

1. 小曲

月のおもてを雪がふり。
まんまるい。
にびいろ緋の雪がふり。

土のなかには。
何万の。
眠ってるだろう。
蛙の眼。

そのいくつかは見開いて。
光ってもいる。
蛙の眼。

月はいつしかうす暗く。
幽霊よりもうす暗く。

しんしん。
しんしん。

いまはなんにも見えないよ。

5. 秋の夜の会話

さむいね。
ああさむいね。
虫がなっているね。
ああ虫がなっているね。
もうすぐ土の中だね。
土の中はいやだね。
痩せたね。
君もずいぶん痩せたね。
どこがこんなに切ないんだろうね。
腹だろうかね。
腹とったら死ぬだろうね。
死にたかあないね。

海の男たちの歌 —

海の男たちの歌—SEA CHANTY (5曲とも日本では初めて歌われるものです)

1. LEAVE HER JOHNNY (ジョニーノ下船だノ)

JOHNNY=ジョニ。勿論水夫の名前。LEAVE=離れる。つまり下船。HER=この場合の「彼女」はこと。船は、女性名詞なのダ。
「仕事は、きついし給料安い。荷物をまとめて船から降りちまおう。あしたは、お前の月給日だしヨ 実際には給料日に飲みに出、女と遊ぶだけで、結局はまた船に帰るしたたかな野郎たちの歌。

2. TOM'S GONE TO HILO (トムはヒロへ行っちゃった)

トムはHILOへ行ってしまった。シーシャンティの中では、どちらかと言えば少いバラード風の曲。日本の中学校の教科書ならTOM IS GONE TO HILOとなるのだろう。

3. BOSTON COME ALL-YE (みんな来いノボストンへ)

今日からちょうど3週間前に編曲が上がりました。ソロが2週間前に決まり、伴奏は1週間前に合わした。
アメリカ沿岸を航行する各種の船の水夫たちに歌われていた。甲板の労働歌。
「まあ、聞けよ。初めに来のが、でっかい鯨、ひでえ奴だった。次にサバ……。」

4. THE GOLDEN VANITY (ゴールデン・ヴァニティ号)

林節は必死に言う。「イキな男どもが集まって、酩酊寸前、肩を組み、涙を流さんばかりに歌う唄」 GOLDEN=黄金の。VANITY=うぬぼれ。「栄光のうぬぼれ丸」というシャレた船名。その他に起った大危機。それを救った少年。老船長の大英断。あの古き良き時代であった。

5. FIFTEEN MEN ON A DEAD MAN'S CHEST (死者の棺の上の15人の野郎どもノ)

あまりに俗語が多すぎて適確な訳はむずかしい。船で死んでしまった男。彼の棺、そこにはありし日切な宝物を入れて……。その棺の上で豪快に騒ぎまわる15人。葬い。



スコッチ

いちばん遅れてやってきた頑固者

熟成モルトをたっぷり使ったスコッチウイスキーの逸品



**フェイス
グロウス**
FINEST SCOTCH WHISKY

標準小売価格 4,000円



